

4-4

でんとう せんじん きょう土の伝統・文化と先人たち

のこ つた (1) 残したいもの・伝えたいもの

つかむ

つよしさんのクラスでは、千葉県にある



ねんちゅうぎょうじ ぶん かざい

年中行事・文化財を調べてみました。

千葉県にはいろいろな年中行事や
文化財があるんだね。



ほけきょうじごじゅうのとう
法華経寺五重塔
(市川市) 1622年



かとりじんぐうほんでんろうもん
香取神宮本殿楼門
(香取市) 1700年



きらいごう
鬼来迎
よこしばひかり かまくら
(横芝光町) 鎌倉時代～



じんや
神野寺表門
きみつ
(君津市) 1504年



も な さといも
茂名の里芋祭り
(館山市)

ねんちゅうぎょうじ
年中行事
毎年決まった時期に行われ
る儀式やお祝いなどの行事。

ぶんかざい
文化財
歴史的にみて、値打ちの高
い芸術品、建物、音楽など。

しりょうていきょう
資料提供
香取市・館山市
君津市・横芝光町
南房総市



なんぶそうちほうのミノコオドリ
ぼうそう
(館山市、南房総市)



しらまつ
白間津のオオマチ行事
(南房総市) 901年～

さわら たいさい

佐原の大祭

1721年～

佐原では夏と秋にお祭りが行われ、あわせて「佐原の大祭」と呼びます。大祭の時、おはやしの音楽に合わせて、歴史上の人物などの人形に、二重の台と車輪をつけた「山車」がまちの中心を練り歩きます。この行事を「山車行事」と呼びます。



きろく のこ
古い記録に残る山車行事



おとず かんこう
大祭に訪れる観光客数(人)

平成27年	758,000
平成28年	747,000
平成29年	617,000
平成30年	748,000
令和元年	540,000
令和4年	640,000

※ 令和2・3年は大祭中止

写真：香取市ホームページ



大きな山車だね。観光客もたくさん来ていて、もり上がっているね。

佐原の大祭は300年も続いているんだね。すごいね。



つよしさんたちは県内の年中行事から「佐原の大祭」を選びくわしく調べることにしました。

佐原の大祭は、どのようにして300年も前から大切に受け継がれてきたのでしょうか。

しらべよう・みてみよう

佐原地区の古い町なみのようす



地図帳で佐原地区のある香取市をさがしてみよう。



かとりしさわらちく

香取市佐原地区を歩くと、今でも古い町なみが

のこ

残っていることに気がつきます。つよくんたち

すいごう だ し

は、町にある水郷佐原山車会館の方から佐原の大

れきし

祭の歴史を聞きました。

水郷佐原山車会館の人の話

佐原の町は、昔から利根川の水運のおかげでおいに栄えました。江



てんじ
展示室の様子

ど ね さか え
戸時代に、町の八坂神社と諏訪神社で、
けんこう ほうさく ねが
健康・安全や豊作を願う祭りが行われ、
くわ
みこしに加えておどりなどが行われるようになり
ました。そこで使われた山車が、現在の山車行事のもと
になりました。



祭りの時には、高さが4メートルにもなる山車をひいてい
きます。山車は佐原の町の各地区に1台あり、全部で24も
あるのです。大きな山車が連なって佐原の町を練り歩くのは
とても勇壮ですよ。

たいさい
佐原の大祭（山車行事）の歴史

- 1714年 佐原の大祭（夏祭り）のもとになる
八坂神社の祭りにおどりや獅子舞が
登場する。
- 1721年 佐原の大祭（秋祭り）のもとになる
諏訪神社の祭りが行われる。※
- 1804年 現在のような山車をひく形の祭り
～29年 になる。
- 1948年 佐原ばやしの保存活動が始まる。
- 1955年 佐原ばやしが県無形民俗文化財に指
定される。
- 2004年 佐原の山車行事が国の重要無形民俗
文化財に選ばれる。
- 2016年 佐原の山車行事がユネスコの無形
文化遺産に選ばれる。

※ 八坂神社の祭りの後、諏訪神社の祭りが行われ、その後あわせて大祭として続いたことからこの年が「佐原の大祭」の始まりとされています。

山車の人形はも
ととは手作りの
かんたんなもの
でしたが、ある町
が大てんぐの人形
をつくり山車にし
たところ大ひょう
ばんになりました。
その後、他の町も
さまざまな人形を
山車にしてひくよ
うになりました。

大正時代の山車行事の様子



ユネスコ無形文化遺産
にんていしょう
登録認定証

こくけん きかん
国連教育科学文化機関
(ユネスコ)が、人から
つた
人へと伝える祭りや
げいのう てんとうこうげい
芸能、伝統工芸などを
認定、登録しています。
登録認定証の中央に
Yama, Hoko, Yatai,
float festivals in Ja-
pan (日本の山車行事)
の文字が読めます。

佐原の大祭で行われる山車行事は、長い
ど みと
歴史と保存の努力が認められて、ユネスコ
の無形文化遺産に登録されました。

つよしさんたちは、保存の取り組みにつ
いて、香取市役所の方に話を聞きました。

香取市役所の方の話

市では、地域の人たちが山車や用具の修理・保存をしたり、山車行事を
つづ じえん
続けていったりできるよう、アドバイスや支援を行っています。また、山
車行事にかか
に関わる研究をして、記録したことを保存します。ホームページな
どで情報を発信し、多くの人に知ってもらおう努力をしています。



ち い き ひとびと だ し ほ ぞ ん
つよしさんたちは、地域の人々が山車行事の保存につい
しら
てどのような活動を行っているのか調べてみました。

佐原ばやし保存会の方の話

佐原ばやしは日本三大ばやしの一つで、美しいメロディーを主体とした音楽です。演奏する楽器は笛、太鼓、すり鉦で構成され、和楽器のオーケストラといえます。

佐原ばやしは、一時、若手の担いで手が減り、なくなるおそれがありましたが、町の宝物を失いたくないという願いのもと、1948年、佐原ばやしの保存活動がはじまりました。1955年には県無形民俗文化財に指定され、今日では、佐原を中心に23団体・約500名が佐原ばやしの保存に努めています。



すいごう

水郷佐原山車会館の方の話

佐原の山車の上には、大きなかざりものが乗っています。神話や歴史上の人物を題材にした大人形や、鷹や鯉のわら細工です。祭りが続けられる中で、地区ごとの大人形がつくられてきました。

大人形は、人形師という職人の手によってつくられました。古いものは200年も前につくられ、修復を重ねて今日まで大切に使われてきました。

鷹や鯉のわら細工は、地区の人々が大人から子どもまでみんな



鷹のかざりもの



鯉のかざりもの

で手作りしています。鷹は稲わら、鯉は麦わらを用いて大きなかざりものにします。昔から受け継がれてきたかざりものは、地域の人々の自慢でもあります。



おかめさんの大人形

写真・資料：香取市より

山車を作る職人の方の話

私^{わたし}の家は先祖^{せんぞ}の代から山車を作っています。多くの人の目にふれる山車^{こうえい}を作るとはとても光栄です。ひく人がひきやすく、長持ちする山車^{ざいもく しゅるい}を作るため、材木の種類や性質^{せいしつ}を生かすことが大切なんです。私が作った山車が、これから何百年も地域の人に受け継がれるといいです。

山車を作る



佐原山車行事伝 承 保存会の方の話

佐原の山車行事は、年長者から若者へと受け継がれて今日まで続いてきました。子どもたちは大人が山車をひく姿^{すがた}を見るのを楽しみにしています。佐原ではみなさんと同じ小学生も祭りに積極的に参加しているのですよ。この祭りがこの先もずっと続くよう願っています。



地域のさまざまな人々が山車行事の保存のために努力しているんだね。



小学生は、どんな活動をしているのかな。



きょう土芸能部練習の様子

祭り当日発表の様子



校長先生の話

佐原小学校には、佐原ばやしを練習する

きょう土芸能部があります。

放課後には笛や太鼓などの音がよく聞こえてきます。佐原の大祭が始まるころには、練習にも力が入ります。

地域の大切な祭り、文化を次の世代につなげていくことは、子どもたちにとって大切な学習となっています。



小学生の話

お祭り当日は、大勢のお客さんの前で、練習したことを発表できるのでうれしいです。地域の方々に喜んでもらえて、また練習をがんばろうという気持ちになります。

まとめよう・つたえよう

さわら だし
佐原の山車行事が
300年も大切に受け継
がれてきた理由を新聞に
まとめてみましょう。



いかそう



ぎょうとく
これは市川市、行徳のお祭りです。秋のほうさくを
いじょう つた
いわうもので100年以上も前から伝わっています。



みこし さいれい
「行徳の神輿文化と祭礼」は令和6年11月3日
に市川市無形民俗文化財に指定されました。

300年 続く! 佐原の大祭

1. 香取市役所の協力

- ・山車・用具の修理保存への支援
- ・山車行事の記録

2. 地域の人々の協力

- ・山車の手作り・修理
- ・佐原ばやし保存会
- ・佐原ばやしの保存活動 (500人が参加!)
- ・地域の職人さんが引き継ぐ長もちする山車を作る

300年 続いた!

2016年にユネスコ無形文化遺産に登録されました。

佐原の大祭 新聞

〇〇小学校 4年〇組 市川祭子

皆で守たお祭

私は佐原の大祭が三百年続く理由を調べてみました。

調べるのと市役所・地域の人の協力で守られている事がわかりました。

そして佐原の大祭は2016年にユネスコ無形文化遺産に登録されました。

佐原小学校郷土芸能部 大祭に向けて練習しています。笛や太鼓を演奏で祭りを盛り上げていきます。

感想文

私はこの学習で佐原の大祭には色々な人々の協力がある事がわかりました。

せいさくしょ
中台製作所の方の話

つづ
行徳でみこしを作り続けることで市川、行徳を
もり上げていければいい
と思っています。



ねんちゅうぎょうじ ぶんかざい
市川市の年中行事・文化財



北国分・あたご神社のイチヨウ



こうのだい つじぎ
国府台・辻切り



こまがた
大野・駒形大神社 おびしや



真間・とうろう流し



すわ おんばしらさい
平田・諏訪神社御柱祭



やわた かつしかはちまんぐうはつうさい
八幡・葛飾八幡宮初卯祭



とくがんじ
行徳・徳願寺山門



かどうけいじゅうたく
行徳・加藤家住宅



ほけきょうじ ほっけどう
中山・法華経寺 法華堂



じょうやとう
行徳・常夜灯

この他 年中行事・文化財

だんご
北方 団子あげ
真間 ほおずき市
中山 とりの市 など

ほりのうち
堀之内 堀之内貝塚
かしわい うばやま
柏井 姥山貝塚
みょうこうじ
行徳 妙好寺山門 など



わたしたちの住む市川市にも、昔から続く年中行事や文化財があります。他にもあるか、調べてみましょう。